

四万十川分水嶺と NBSに関する 米国と高知の 科学者 対話集会

2025年2月28日 **金**

10:15 ~ 12:30

於 高知大学211教室



デニス・ウィグハム氏
スミソニアン環境研究所 特別荣誉科学者
北米ラン保全センター 初代所長



キース・ビンステッド氏
アンダーウッド・アンド・アソシエーツ社



岡村健志氏
高知大学次世代地域創造センター
教育研究部総合科学系地域共同教育学部門
准教授



比嘉基紀氏
高知大学教育研究部自然科学系理工学部門
准教授(植物生態学)



司会: 小松正之氏
一般社団法人生態系総合研究所 代表理事



通訳: 中村智子氏
一般社団法人生態系総合研究所

マット・フレミング氏 メリーランド州アン・アルンデル郡 レジリエンス・オーソリティ ディレクター

松政正俊氏 岩手医科大学教授

横山勝英氏 東京都立大学教授

板川暢氏 鹿島建設株式会社鹿島技術研究所 主任研究員

公益財団法人黒潮生物研究所(予定)

四万十川分水嶺と

NBSに関する

米国と高知の

科学者

対話集会

2025年2月28日 

10:15～12:30

於 高知大学211教室

プログラム

第一部(10:15～11:30)

1. 合同会議開催の趣旨説明と自己紹介(米側: Dennis Whigham 博士、日本側: 岡村健志准教授)
2. 研究内容の発表とNBSについての説明

日本側: 高知大学、高知工専から四万十川分水嶺及び河口域に関する研究内容の発表

米国側: デニス・ウィグハム博士、キース・ビンステッド氏、東京都立大学横山勝英教授による発表
(NBSとは何か、米国チェサピーク湾でのNBSによる環境修復について他)

第二部(11:30～12:30)

- ① 第一部の発表を受けた総合討論
- ② 黒潮研の教授他による自己の研究についての説明、その後質疑応答

*各自発表は英語で行い、質疑応答のみ逐次通訳。